

遺愛のSDGsプログラム

遺愛では 2022 年度高校 1 年生から、SDGs に学校として積極的に取り組むことにしました。

北洋銀行の支援のもと、損保ジャパン・函館市役所・市内の 6 企業の協力を得て、SDGs についてより深く学ぶ機会を得られることになりました。**銀行・保険会社・学校との教育支援協定は北海道で初めての取り組み**です。これを機会に、新たに「道南地域の活性化」にむけて、地域の企業や町内会とも連携しながら踏み出しました。まずは高校 1 年生からの宣言、取り組みになりましたが、下記の流れの結果、12 月に『SDGs 宣言書』が完成しました。3 年後には学校全体の取り組みになればと願っています。



函館新聞2022年6月2日朝刊

2022年度行った遺愛SDGsプログラム

- 4 月 HR で「自分自身を見つめ、自分の将来について考える」
- 5 月 HR で「SDGs17 ゴールについてグループで調べる」(タブレットなどを用いて)
- 6 月 SDGs 講演会 (SOMPO リスマネジメント株式会社 サステナビリティ部 松島 聡子様)
- 7 月 SDGs カードゲーム (損保ジャパンスタッフの指導で)
- 8 月 HR で「函館」についての事前学習
- 9 月 函館についての SDGs 講演会 (函館市企画部計画推進室主任主事 細越 大毅様)
HR で遺愛幼稚園・遺愛旭岡幼稚園に贈る「SDGs オリジナル絵本」の作り方説明
- 10 月 SDGs を推進している 6 企業の講演会
(函館環境衛生、西武建設運輸、チカラフーズ、三和防災、五島軒、菅原組)
HR で「函館市の望ましい未来」について考え、未来の姿に対して何を自分たちができるか、議論し、アクションプランをまとめる。
HR でアクションプランについて、銀行・損保ジャパン・企業の方々とディスカッション。
HR で「SDGs オリジナル絵本」製作
- 11 月 HR で、前回のディスカッションを踏まえて最終的にアクションプランをまとめる。
各グループの内容を全員で共有
- 12 月 HR 「SDGs 宣言書」作成のための話し合い
17 日「SDGs 宣言書」公表
遺愛旭岡幼稚園・遺愛幼稚園に 40 冊の SDGs 絵本をプレゼント

基本的な考え方はやはり「Think Globally, Act Locally」だと思います。世界規模の課題を常に意識し考えながら、身近なところから実行に移すということです。派手な取り組みとはならないかもしれませんが、「小さくても一歩ずつ一歩ずつ」を心に刻みながら進めていければと願っています。

この 2 月 4 日 (土) に、1 年生の有志 30 人が、遺愛「SDGs 宣言」のもと、市内 3 ヶ所で雪かきボランティアに取り組みました。生徒自らが考えた宣言の 1 つである「鉄壁で安全に住める街のために」を実現する具体例として、「雪かきボランティアの企画・実践」を盛り込んだので、早速行動にうつしました。特進コース 1 年の鈴木優菜さんと高松夢芽さんは「これまで SDGs について学んできた中で、雪かきボランティアの企画を知り、少しでも力になればと手を挙げました。大変でしたが、達成感とやりがいを感じました。」と語っていました。

除雪をした施設の関係者からお礼の言葉をかけられると、生徒らはとても素敵な笑顔で返しました。

2023 年 2 月 6 日 (月)